

2020年度(令和2年度)「自ら考え学ぶ授業づくり」アクションプラン

〈学校用〉

校番(30)番 福山市立新市中央中学校

1 育成する力(21世紀型“スキル&倫理観”)

育成する21世紀型“スキル&倫理観”	より深く考える力	チャレンジ&チェンジする力	つながる力
めざす子ども像(21世紀型“スキル&倫理観”を身に付けた児童生徒の姿)	<ul style="list-style-type: none"> 習得した知識やスキルを活用し、情報を比較、分類、関連付けて考え、互いの考えを検討し合い、深めたり広げたりして、判断や意思決定をしている。 自分の考えを、学習した用語や図、表、グラフを用いて、相手に分かりやすく伝え、納得させようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の目標と目標達成に向けた計画を立て、取り組むとともに、その取組を定期的に振り返り、改善策を考えようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 互いのよさや違いを認め合い、自ら積極的に他者とかわり、協働して課題の解決策を創造しようとしている。

2 授業の現状

・カリキュラム・マップとアクションプランに基づいて、全教員が子ども主体の学びにむけた授業改善に取り組んでいる。「個人のアクションプランを意識して授業改善に努めている」教員100%である。
 ・4つの共通取組では、「生徒の声を聴く」教員100%、「生徒の考えを認める」教員100%、「生徒が行き詰まった時に生徒同士をつなぐ」教員100%、「グループ協議後に個々の生徒に考えを持たせる」教員84%である。

転換

3 めざす授業の姿

生徒と授業者が一緒に創る授業
 ・学びを自分たちで創っていくカラフルな生徒
 ・こだわりを持ったカラフルな授業者

4 めざす授業に向けた取組の具体

4月からの取組	8月末の状況	9月からの取組	12月末の状況	1月からの取組	2月末の状況
子ども主体の学びに向けた授業を挑戦し実践するために、 ・生徒の声を聴く ・生徒の考えを認める ・生徒が行き詰まった時に生徒同士をつなぐ ・グループ協議後に個々の生徒に考えを持たせる ・設定した「こだわりのある設問」を意識する	子ども主体の学びに向けた授業を挑戦し実践するために、 「生徒の声を聴く」授業者93.8% 「生徒の考えを認める」授業者93.8% 「生徒が行き詰まった時に生徒同士をつなぐ」授業者81.3% 「グループ協議後に個々の生徒に考えを持たせる」授業者62.5% 「設定した「こだわりのある設問」を意識する」授業者100% (授業者16名)	子ども主体の学びに向けた授業を挑戦し実践するために、 ・生徒の声を聴く ・生徒の考えを認める ・生徒が行き詰まった時に生徒同士をつなぐ ・グループ協議後に個々の生徒に考えを持たせる ・設定した「こだわりのある設問」を意識する 継続	子ども主体の学びに向けた授業を挑戦し実践するために、 「生徒の声を聴く」授業者94.7% 「生徒の考えを認める」授業者89.5% 「生徒が行き詰まった時に生徒同士をつなぐ」授業者89.5% 「グループ協議後に個々の生徒に考えを持たせる」授業者73.7% 「設定した「こだわりのある設問」を意識する」授業者94.7% (授業者19名)	子ども主体の学びに向けた授業を挑戦し実践するために、 ・生徒の声を聴く ・生徒の考えを認める ・生徒が行き詰まった時に生徒同士をつなぐ ・グループ協議後に個々の生徒に考えを持たせる ・設定した「こだわりのある設問」を意識する 継続 ・生徒が「分かる」と思える授業を創る	子ども主体の学びに向けた授業を挑戦し実践するために、 「生徒の声を聴く」授業者100% 「生徒の考えを認める」授業者100% 「生徒が行き詰まった時に生徒同士をつなぐ」授業者72.2% 「グループ協議後に個々の生徒に考えを持たせる」授業者88.9% 「設定した「こだわりのある設問」を意識する」授業者94.4% (授業者18名)

5 取組の結果等

数値は2019年(R1年)調査等の状況

全国学力・学習状況調査(%)	〈児童生徒質問紙調査〉(%)	(肯定的評価)	
国語	78.0(+4.0)	自分にはよいところがある	84.9
数学	65.0(+5.0)	先生はよいところを認めてくれる	89.9
英語	57.0(+1.0)	将来の夢や目標を持っている	89.0
		人の役に立つ人間になりたい	99.2

()は県平均との差

「基礎・基本」定着状況調査	〈児童生徒質問紙調査〉(%)	(肯定的評価)
学校へ行くのは楽しい		87.6
「やりなさい」と言われなくても、自分から進んで勉強をしている		74.4
授業では、課題について、「なぜだろう」「やってみよう」と思う		72.1
授業では、友だちと話し合うなどし、考えを深めたり広げたりしている		84.5

暴力行為発生率・不登校児童出現率 (%)	(3)月末現在
暴力行為	0.0
不登校	1.3

体力づくり改善計画【広島県体力・運動能力調査から】

県平均以上項目数	前回目標値に対する結果	重点課題	改善する取組内容・方法
(男子) 24/24	男子24/24、女子24/24であった。	体育の授業を通して、運動のポイントを見つける喜びを感じる事で運動に対する興味・関心を高める。	授業の目標を時間ごとに設定し、楽しく動ける授業、考える授業をつくる。毎回の授業の中で、課題となる補強を行う。
(女子) 24/24			
目標値	男女とも全種目、県平均値以上。		

福山100NEN教育アンケート[対象:授業者](%)

質問項目	当てはまる	当てはまらない
仕事にやりがいを感じている	100	0
仕事に充実感がある	94.4	5.6

児童生徒アンケート(%) (12)月実施

質問項目	当てはまる	当てはまらない
授業で考えることが面白い	83.9	16.1
自分の考えは、認められている	86.0	14.0